性暴力被害の実態(全国と鳥取県の比較)

※出典 全国:男女間における暴力に関する調査報告書(H30年3月内閣府男女共同参画局) 鳥取県:令和元年度鳥取県男女共同参画意識調査 調査結果報告書(鳥取県令和新時代創造本部女性活躍推進課)

R2.8.20 くらしの安心推進課

【調査の概要】

■調査の方法

	全国	鳥取県		
調査対象	全国20歳以上の男女	県内に居住する18歳以上の男女		
調査客体	5,000人	2,350人		
抽出方法	層化二段無作為抽出法	住民基本台帳から無作為抽出		
調査時期	平成29年12月	令和元年8月		
調査方法	郵送留置訪問回収法	郵送法		
回収結果 (有効回収数 (率))	3,376人(67.5%) (内訳)女性1,807人、男性1,569人	990人(42.6%) (内訳)女性568人、男性410人、 不明12人		

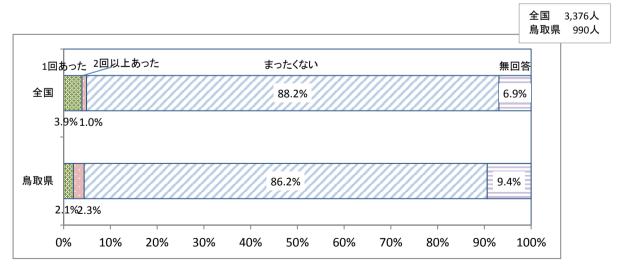
■回答者の年齢別人数

年齢	全国		鳥取県		
十图	人数	割合	人数	割合	
18-19歳	-	-	6人	0.6%	
20-29歳	250人	7.4%	48人	4.8%	
30-39歳	446人	13.2%	83人	8.4%	
40-49歳	611人	18.1%	151人	15.3%	
50-59歳	574人	17.0%	171人	17.3%	
60歳以上	1,495人	44.3%	526人	53.1%	
無回答			5人	0.5%	
合計	3,376人	100.0%	990人	100.0%	

【調査結果】

1 異性から無理やりに性交された経験の有無(1つ選択)

本県では、性暴力を受けた経験がある人は4.4%(44人)(1回2.1%(21人)、2回以上2.3%(23人))であった。全国は4.9%あり、ほとんど差異は見受けられなかったことから、本県でも全国と同程度の性暴力被害が潜在していることが推測される。



2 異性から無理やりに性交された被害の相談先(複数回答)

本県は、全国と比較すると「友人・知人に相談した」(31.8%)、「警察に連絡・相談した」(11.4%)、「民間の専門 家・専門機関に相談した」(4.5%)割合が高かった。 一方、「どこ(だれ)にも相談しなかった」割合は全国では56.1%、本県では52.3%であり、全国より相談した

割合が低くなっている。

